

人文社会科学系組織連絡会議共同シンポジウム

人文社会科学の構想力



参加登録は
こちらから

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_aQc-SbBzRcqq8rUmkXIkAw

主催：
人文社会科学系組織連絡会議

シンポジウム事務局：
東アジア藝文書院(EAA)

問合せ先：
研究推進部学術振興企画課
企画調整チーム
jsk@eaa.c.u-tokyo.ac.jp

日時：2022年3月9日（水）
15 - 18時

会場：ウェビナー（事前登録制）

概要

東京大学では、近年、ヒューマニティーズセンター（2017年7月）、アジア研究図書館（2018年4月）、東京カレッジ（2019年2月）、東アジア藝文書院（2019年3月）、現代日本研究センター（2020年7月）と、人文社会科学に関係する新たな教育・研究組織が相次いで発足している。これらの組織は、それぞれ、従来の人文社会科学のあり方への反省的視点の上にとって、人文社会科学の新たな可能性を構想し活発な活動を行っている。

本シンポジウムでは、文理の区分を超えた総合的な知のあり方、学術と社会の対話、ダイバーシティ、グローバル化、デジタル化等、現代の学術を取りまく多様な課題をまじえて、各組織が描く人類社会の未来と新たな人文社会科学の構想を大胆に提起し、それらを立体的に交差させることを通じて、人文社会科学が学術の発展および人類社会の未来にどのような貢献をなしうるかを展望する。

趣旨説明

執行役・副学長（人文社会科学組織連携担当） 佐藤 岩夫



総長あいさつ

総長 藤井 輝夫

登壇者紹介・プログラム案内

第1部

各組織からの報告 3:15PM

ヒューマニティーズが目指すところ——リエゾンによる構想力

ヒューマニティーズセンター 機構長 齋藤 希史

知識エコシステムとしての人文学

国際高等研究所東京カレッジ 准教授 ハチウス・ミハエル

新しい学問の試み—東アジア藝文書院の現在と未来

東アジア藝文書院 副院長 石井 剛

グローバル時代の日本を考える

現代日本研究センター長 白波瀬 佐和子

学術資産と研究拠点：コレクション構築と知の接続ハブとしての

アジア研究図書館

アジア研究図書館 准教授 河原 弥生

<休憩>

総合司会



ケネス・盛・マッケルウェイン

東京大学社会科学研究所教授 東京大学現代日本研究センター運営委員
スタンフォード大学大学院政治学博士。ミシガン大学政治学部助教授を経て、現在
東京大学社会科学研究所教授。専門は比較政治制度と世論分析。最近では憲法の条文
をデータ化し、憲法典の歴史的な治革、地域・グローバルレベルの規範化、日本
国憲法の世界的な位置づけなどを考察。平成28年度東京大学卓越研究員。

パネリスト



太田 邦史

東京大学執行役・副学長

1985年東京大学理学部卒業。1990年同大学院理学系研究科博士課程修了・理学博士。理化学研究所研究員、研究ユニットリーダー、准主任研究員を経て、2007年東京大学大学院総合文化研究科教授、2019年同研究科長。2021年より東京大学執行役・副学長。



佐藤 健二

東京大学執行役・副学長

1979年東京大学文学部卒業。1983年東京大学教養学部助手、1994年同大学文学部助教授・大学院社会学研究科担当、2005年同大学大学院人文社会系教授、2017年同大学大学院人文社会系研究科長・文学部長を経て、2019年より東京大学執行役・副学長。専門は、歴史社会学、文化社会学、社会調査史。『真木悠介の誕生：人間解放の比較=歴史社会学』（2020年）など。



齋藤 希史

東京大学ヒューマニティーズセンター機構長 東京大学大学院人文社会系研究科教授

1986年京都大学文学部卒業。1991年京都大学大学院文学研究科博士課程中退（中国語学中国文学）。京都大学人文科学研究科助手、奈良女子大学文学部助教授、国文学研究資料館文献資料部助教授、東京大学大学院総合文化研究科教授を経て、現在、同大学院人文社会系研究科教授。2017年より連携研究機構ヒューマニティーズセンター機構長。



ハチウス・ミハエル

東京大学国際高等研究所東京カレッジ 准教授

2008年ボン大学文学部卒業。2016年ベルリン自由大学歴史文化学部博士課程修了。同大学グローバル・インテレクチュアル・ヒストリー学院経営主任、ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドンでイギリス学士院ニュートン国際研究員を経て2020年東京カレッジ特任助教。同年東京大学卓越研究員に選出。2021年より現職。



石井 剛

東京大学東アジア藝文書院副院長 東京大学大学院総合文化研究科教授

近代中国の思想史と哲学を中心に研究を行う。単著に『斉物の哲学』（中国語、2016年）、『戴震と中国近代哲学』（2014年）、編著に『ことばを紡ぐための哲学』（中島隆博との共編、2019年）など。



白波瀬 佐和子

東京大学現代日本研究センター長 東京大学大学院人文社会系研究科教授

専門は社会学。特に、人口変動と社会的不平等についてジェンダー・家族、社会保障制度や家族変動と関連させて実証研究を実施してきた。最近の研究業績として、“Social Stratification Theory and Population Aging Reconsidered”（2021, Japan Journal of Social Sciences）、『人生後期の階層構造』（2021年、編著、東京大学出版会）がある。



河原 弥生

東京大学附属図書館アジア研究図書館研究開発部門准教授

2008年東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。専門は中央アジア・イスラーム史。人間文化研究機構地域研究推進センター研究員、日本学術振興会特別研究員RPD、東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門特任研究員を経て、2021年より現職。

モデレーター



佐藤 岩夫

東京大学執行役・副学長

東北大学法学部卒業。2000年東京大学社会科学研究所助教授、2005年同教授、2018年同所長。2021年より東京大学執行役・副学長。博士（法学）。専門は法社会学。『変動期の日本の弁護士』（編著、2015年）、『ガバナンスを問い直すI・II』（編著、2016年）など。



閉会あいさつ
理事・副学長 齋藤 延人